



株主の皆様へ

# 第77期中間報告書

〈2024年1月1日～2024年6月30日〉



山崎製パン株式会社

証券コード 2212

## 株主の皆様へ



### 目次

株主の皆様へ	1
経営基本方針、 21世紀のヤマザキの経営方針	2
事業の概要	3
セグメント別の状況	5
製品情報	9
社会貢献への取組み	11
財務諸表（連結）	13
財務諸表（単体）	15
YAMAZAKIインフォメーション	16
株式の状況、役員・従業員	17
グループ概要	18
株主メモ	裏表紙

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループ第77期事業年度の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期（2024年1月1日から2024年6月30日まで）におきましては、物価上昇が続き、お客様の節約志向が強まる厳しい経営環境となりましたが、当社は「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上や2極化・3極化戦略などにより変化するお客様のニーズに合った製品対応を推進するとともに、小売事業における日次管理・週次管理・時間管理の徹底により日々の仕事の精度向上をはかり、業績向上を期してまいりました。

特に、本年1月からは、主力の「ダブルソフト」に新規技術を活用し、抜本的な品質改善を実施しました。これは、昨年7月に実施した価格改定の一巡を見据え、種蒔きの仕事として行ったものでありますが、これがお客様の好評を得て、「ダブルソフト」の売上は大きく伸ばいたしました。今後、この新しい品質改善技術を、他の製品にも有効に活用して品質改善を推進し、更なる業績向上につなげてまいります。

また、当社は科学的根拠をもった食品安全衛生管理体制の上に行う新型コロナウイルス感染防止対策を継続し製品の安定供給につとめるとともに、労働安全衛生管理体制の整備に取り組み、その中で、従業員と管理職による2本立ての労働安全衛生管理を見出し、働く職場の安全に向け取り組みました。

当中間期の業績につきましては、山崎製パン(株)単体の食パン、菓子パンを中心に好調に推移したことに加え、(株)不二家や(株)サンデリカ、ヤマザキビスケット(株)など連結子会社の業績が改善したこともあり、お陰様をもちまして、大幅な増収増益となり、前期に続き、連結、単体とも過去最高益を更新することができました。

以上の業績を踏まえ、通期の連結業績予想の上方修正を行うとともに、期末配当予想を、前期に比べ13円増配の38円に修正させていただきました。

当社グループは引き続き、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組むとともに、2本立ての労働安全衛生管理を充実強化して働く職場の安全にも取り組み、21世紀のヤマザキの前進に向け、グループ一丸となって努力してまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年8月

代表取締役社長

飯島延浩

# 経営基本方針

## 綱領

(1) わが社は、企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与することを使命とし、個人の尊厳と自由平等の原理に基づき、いのちの道の教えの言葉に従い、困難に屈することのない勇氣と忍耐とによって、神のみこころにかなう永続する事業の実現を期すこと。

(2) われわれは、常に良きものへ向って絶えず進歩しつづけるため、各人が自由な決心に基づき、正しき道につき、断固として実行し、自主独立の協力体制を作り、もって使命達成に邁進すること。

## 具体方針

21世紀のヤマザキは、新しいヤマザキの精神と新しいヤマザキの使命に導かれて、いのちの道の教えの言葉に従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する「部門別製品施策・営業戦略」、「小委員会によるなぜなぜ改善」を行ない、次の六つの具体方針の実践、実行、実証に邁進する。

- ① 最高の品質と最善のサービス(今日到達しうるベストオリティ―ベストサービスの実践、実行、実証)を目標とし、品質は今到達しうる最高のものであり、新鮮であること。それは製品、組織、仕事、工場、財産並びに設備のなかに表わさるべきこと。
- ② 充実した効率のよい積極的な組織体を作りあげ、そして維持拡充していくため、あらゆる可能の努力を注ぐこと。その組織体の人々は、会社を信頼し、仕事が喜びであり、普通ではできない仕事を完遂することが個人的な願望にまできていること。

③ 入手できる限りの、事業に独特な要求に適合した最善の設備と施設を備えること。

この設備や施設の調達は、維持運営が経済的であることと会社の組織に最も仕事をしやすい道具を与えるという二つの観点から考えられること。

④ 産業界と一般社会との間に協力関係を創り出し、維持していくため、実行可能な一切のことを行なっていくこと。

⑤ 業務の遂行に関するすべての決定を行なうにあたって、常にその一件を処理する上での便宜よりも、事業全体にとって何が正しいか、何が最善であるかを中心に考えること。

⑥ 顧客に接するときは、常に公明正大で、かつ相手が何を欲しているかを十分に考慮すること。配達や品質やサービスについては、その成果が最優秀なものになるように努力すること。

## 21世紀のヤマザキの経営方針

当社は、21世紀の事業環境と社会の変化に対応するため、「企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与することを使命とし、自主独立の協力体制を作り、もって使命達成に邁進する」という顧客本位の精神で、潜在需要に着目しイノベーション(技術革新)によって需要を創造するという、前向き積極的なピーター・ドラッカー博士の経営理論に導かれる山崎製パン株式会社の「経営基本方針(綱領および具体方針)」を改めて高く掲げると同時に、これを補完するものとして、「日々、お取引先からご注文いただいた品は、どんな試練や困難に出会うことがあっても、良品廉価・顧客本位の精神でその品を製造し、お取引先を通してお客様に提供する」という、新しいヤマザキの精神に導かれ、科学的根拠の上立った食品安全衛生管理体制の上に築き上げる科学的・合理的・効率的な事業経営手法として、いのちの道の教えに従ったすべての仕事を種蒔きの仕事から開始する部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を実践、実行、実証することで、新しい価値と新しい需

要を創造し、社会の負託に応え社業を前進させることを21世紀のヤマザキの経営方針といたします。

事業経営の具体的遂行に当たっては、経営陣、管理職は、本物の5S・全員参加の5Sとピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「2本立ての5S」を行うとともに、いのちの道の教えに従った部門別製品施策・営業戦略をピーター・ドラッカー博士の5つの質問と連動させ、「私たちの使命は何ですか」(What is our mission?)と問うだけでなく「私の使命は何ですか」(What is my mission?)と問い、生産部門・営業部門一体となった業務を推進するとともに、内部管理体制を充実・強化して、各部門毎の自主独立の協力体制を構築いたします。また、「良品廉価・顧客本位の精神で品質と製品、サービスをもって世に問う」というヤマザキの精神と「知恵と知識によって変化に挑戦し、新しい価値と新しい需要を創造する」といういのちの道を導く言葉によって日々の仕事の実践、実行、実証に励み、業績の着実な向上を期してまいります。

## 当中間期における連結業績の概況

売上高 **6,177億47百万円** (対前年同期比 109.5%)

営業利益 **310億29百万円** (対前年同期比 150.6%)

経常利益 **340億28百万円** (対前年同期比 149.5%)

親会社株主に帰属する  
中間純利益 **215億69百万円** (対前年同期比 153.5%)

## 当中間期の事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、コロナ禍から経済活動が正常化し景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、物価上昇により実質賃金の減少が続き個人消費は低迷いたしました。

当業界におきましては、お客様の生活防衛意識が高まり節約志向が強まる中で、前期高騰した鶏卵価格は落ち着きましたものの糖類や油脂など原材料価格の高止まりもあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、コロナ禍からの人流回復やインバウンドの増加もあり来店客数が増加するとともに、パンやおにぎ

りなどが好調に推移しました。

このような情勢下にあります、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって低価格製品を充実する一方で、女性製品開発担当者を中心に付加価値を付けた製品開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進しました。さらに、消費者キャンペーンを活用して売上拡大に取り組み、業績向上をはかりました。

また、当社グループは、科学的根拠をもった食品安全衛生管理体制の上に行う新型コロナウイルス感染防止対策を継続し製品の安定供給につとめるとともに、労働安全衛生管理体制の充実強化をはかり、従来の現場におけるチョコ停・トラブル、ヒヤリハットを安全日誌により日次・週次・月次で管理する体制に加え、現場の管理職が機械設備や生産ラインの人員体制における問題・課題を管理・監督する、2本立ての労働安全衛生管理体制を整備し、業績向上対策とともに、働く職場の安全に向け取り組んでまいりました。

デイリーヤマザキやフレッシュベーカーリーの小売事

売上高



営業利益



業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて、お客様のニーズを的確に把握し、日次管理・週次管理・時間管理の経営手法により日々の仕事の精度向上をはかるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携した女性製品開発担当者による商品開発を推進し、業績向上をめざしました。

当中間期の業績につきましては、昨年7月に実施した価格改定の寄与や2極化・3極化戦略が奏功し、山崎製パン(株)単体の食パン、菓子パンが好調に推移したことに加え、連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。

[セグメント別の状況は5頁から8頁のとおりです。]

## 通期の見通し

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、物価高によりお客様の節約志向が続く中で、物流コストやエネルギーコストの上昇が予測され、厳しい経営環境になるものと思われまます。

このような状況下にありまして、当社グループは引き続き、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種々

きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新規技術を活用した品質向上をはかり、2極化・3極化戦略によって、変化するお客様のニーズに対応した際のない製品対応を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組むとともに、2本立ての労働安全衛生管理を充実強化して働く職場の安全にも取り組み、着実な業績向上をはかってまいります。

### 通期の連結業績見通し

売上高	<b>1兆2,340億円</b>	(対前期比 105.0%)
営業利益	<b>545億円</b>	(対前期比 129.9%)
経常利益	<b>590億円</b>	(対前期比 129.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>365億円</b>	(対前期比 121.0%)

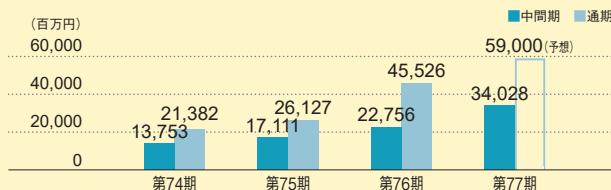
【2024年7月31日 業績予想を上方修正】

### 配当見通し

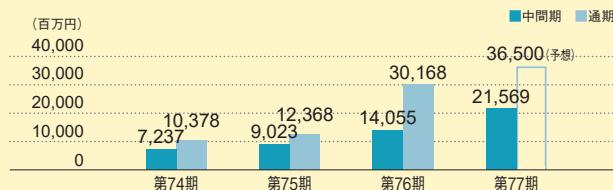
期末配当金	<b>1株当たり38円</b>	(前期に比べ13円増額)
-------	-----------------	--------------

【2024年7月31日 配当予想を増額修正】

経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



## セグメント別の状況

### 食品事業

売上高 **5,745億7百万円** (対前年同期比 109.4%)

**93.0%**  
売上高構成比

食パン部門 売上高 **598億49百万円** (対前年同期比 111.9%)

**9.7%**

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が伸長するとともに、「スイートブレッド」、「モーニングスター」などの低価格食パンや主力製品のハーフサイズ食パンが伸長しました。また、本年1月に新規技術により品質を向上させた「ダブルソフト」が大きく伸長するとともに、前第4四半期に新規連結した(株)YKベーキングカンパニーの売上寄与もあり、前年同期の売上を大きく上回りました。

#### 食パンの3大ブランド



ロイヤルブレッド



ダブルソフト



超芳醇



モーニングスター



ロイヤルブレッド  
(ハーフサイズ)



ダブルソフト  
(ハーフサイズ)



スイートブレッド

## 菓子パン部門 売上高**2,343億77**百万円 (対前年同期比 114.8%)

37.9%

菓子パンは、「コッペパン」や「まるごとソーセージ」、「ミニスナックゴールド」などの主力菓子パンが伸長するとともに、「ドーナツステーション」や「ずっしり」シリーズなどの低価格製品が伸長しました。また、「薄皮たまごぱん」など新たに惣菜製品をラインアップした薄皮シリーズが伸長するとともに、前第4四半期に新規連結した(株)YKベーキングカンパニーの売上寄与もあり、前年同期の売上を大きく上回りました。



コッペパン  
ジャム&マーガリン



ミニスナックゴールド



牛乳仕込みの  
ミルクチョコロッキー  
(ドーナツステーション)



ずっしりデニッシュ



まるごとソーセージ



薄皮たまごぱん

## 和菓子部門 売上高**368億86**百万円 (対前年同期比 105.1%)

6.0%

和菓子は、主力の串団子や饅頭が堅調に推移するとともに、主力の「北海道チーズ蒸しケーキ」の伸長や低価格製品の「やまざき蒸しパン」シリーズの寄与もあり蒸しパンが伸長しました。さらに、和洋折衷のチルド製品「クリームたっぷり生どら焼」が寄与し、前年同期の売上を上回りました。



串だんご



黒糖まんじゅう



吹雪まんじゅう



北海道チーズ蒸しケーキ



熟成マラーカオ  
(やまざき蒸しパン)



クリームたっぷり生どら焼  
(チルド製品)

## セグメント別の状況

**洋菓子部門 売上高779億15百万円** (対前年同期比 103.5%)

12.6%

洋菓子は、主力の2個入り生ケーキや「まるごとバナナ」、大きなシューシリーズが伸長するとともに「イチゴスペシャル」などの「スペシャル」シリーズが好調に推移しました。また、値ごろ感のある「喫茶気分」シリーズが寄与するとともに、コンビニエンスストア向け製品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。



莓のショートケーキ



まるごとバナナ



ダブルクリームシフォン  
(喫茶気分)



大きなツインシュー



イチゴスペシャル

**調理パン・米飯類部門 売上高769億3百万円** (対前年同期比 103.6%)

12.5%

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカを中心ににおにぎりやサンドイッチが伸長するとともに、大徳食品(株)において麺の品質向上により調理麺の売上が拡大したこともあり、前年同期の売上を上回りました。



貝たっぷり手巻おにぎり  
紅鮭



大きなおむすび  
ツナマヨネーズ



ひとくちサンド



ざる蕎麦

**製菓・米菓・その他商品類部門 売上高 885億 75百万円** (対前年同期比 107.0%)

14.3%

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「ポテコ」など、各社の主力品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。



カントリーマアム



チップスター



エアリアル



ポテコ

## 流通事業

**売上高 360億 99百万円** (対前年同期比 112.1%)

5.8%  
売上高構成比

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して、「こぼれるクリームパン」などのデイリーホット商品や「ランチパック 大盛り」シリーズなど、女性製品開発担当者による魅力ある商品開発を推進し、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンをめざしました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトにおいてデイリーホットの品質向上や収益改善などに取り組み、各工場のモデル店を選定し工場と連携した業績改善をはかるとともに、店舗開発や店舗改装によるヤマザキらしい店づくりに取り組みました。この結果、チェーン全店売上高が前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

デイリーヤマザキ  
当中間期末の店舗数

**1,302店**

(前年同期末差 25店減)

●デイリーヤマザキ

**1,007店**

(前年同期末差 4店減)

●ニューヤマザキデイリーストア

**285店**

(前年同期末差 20店減)

●ヤマザキデイリーストア

**10店**

(前年同期末差 1店減)



デイリーヤマザキ川崎池上新町3丁目店 (神奈川県川崎市)



こぼれるクリームパン  
(デイリーホット)



ランチパック  
たまご 特盛

## ミミまでソフトな、ロングセラー食パン 『ダブルソフト』

『ダブルソフト』は、“ミミまでソフト”、“まん中から手で分けられる食べやすさ”、“厚みがあるのに軽く食べられる”が特長の食パンで、1989年の発売以来、幅広い層のお客様からご支持をいただいております。

本年1月に、新規技術を活用した品質改善を行い、しっとりソフトな食感を向上させるとともに、新しいルヴァン種を採用し、これまでより乳風味を高めました。さらに、6枚入、3枚入に加え、食べきるのにちょうどいい2枚入タイプを新たにラインアップしました。お陰様をもちまして、お客様のご好評をいただいております。

長年ご愛顧いただいているお客様はもとより、多くの方々にお召しあがりいただきたい逸品です。



### 『スイートブレッド』 『レーズンゴールド』 をリニューアル

本年7月から、『ダブルソフト』の新規技術を『スイートブレッド』、『レーズンゴールド』に活用し、リニューアルしました。

トーストした時の「サクリとした食感」とそのまま生で召しあがる時の「しっとりした食感」が向上しました。



スイートブレッド



レーズンゴールド

### 『ダブルソフト』を使ったレシピ ベーコンエッグチーストースト

#### 材料(1人分)

- ダブルソフト ..... 1枚
- 厚切りベーコン ..... 1枚
- 卵 ..... 1個
- ピザ用チーズ ..... 40g
- 玉ねぎ ..... 1/10個
- 黒こしょう ..... 少々
- チャービル ..... お好みで

#### 作り方

- ① フライパンを熱し、厚切りベーコンを焼きます。
- ② ①のフライパンをキッチンペーパーでさっと拭き、油を引いて卵を割り入れ目玉焼きを作ります。
- ③ パンにピザ用チーズをのせてトースターでこんがり焼きます。薄切りにした玉ねぎと①、②をのせて黒こしょうをふり、チャービルを飾ります。



表紙のトーストのレシピです。

## しっとり食感の生地とたっぷりフィリング 「薄皮シリーズ」

「薄皮シリーズ」は、しっとりとした食感の生地フィリングをたっぷり包み込んだ薄皮仕立てのミニパンシリーズです。

つぶあんをはじめ、クリーム、ピーナッツクリーム、チョコクリーム、白つぶあんなどバラエティー豊かに取り揃えており、パンのしっとり感とフィリングのおいしさをしっかりと味わうことができる逸品です。



薄皮つぶあんぱん



薄皮クリームパン



## 「薄皮シリーズ」に惣菜パンをラインアップ

“手軽に食べられる惣菜パン”をコンセプトに「薄皮シリーズ」の惣菜パンとして『薄皮グルメ』をご用意しております。

本年1月に発売した『薄皮たまごぱん』をはじめ、『薄皮ハンバーグ&ケチャップパン』や『薄皮ナポリタンパン』など、『薄皮グルメ』の新製品を定期的に発売し、お客様のニーズにお応えしております。



薄皮たまごぱん



薄皮ハンバーグ&ケチャップパン



### ファイダー 公益財団法人 国際開発救援財団(FIDR)

## 国際協力援助活動および緊急援助活動を推進しています

当社は、国際社会からの要請に応える社会貢献への取組みの一環として、開発途上国および自然災害被災地の人々がよりよい生活ができることを願い、公益財団法人国際開発救援財団（FIDR）への支援を通じ、国際協力援助活動と緊急援助活動を推進しております。

### FIDRへの支援

FIDRは、1990年に当社創業者の故・飯島藤十郎社長が主たる基本財産を出捐し、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン（WVJ）を支援する目的で設立された民間の援助団体です。

子どもの未来を育む「チャイルド・ケア」と「日本人と日本企業による国際協力の推進」をミッションに掲げ、開発途上国の人々の生活環境の向上と地域の発展を目的とした国際協力援助活動と、国内外の自然災害に対する緊急援助活動を実施しております。

現在は、カンボジア、ベトナム、ネパールで、医療、保健衛生、教育、農業、栄養、収入向上などの分野において、地域に根ざした援助活動を行っております。また、2024年元日に発生した令和6年能登半島地震の被災地における緊急・復興支援に、これまでの国内外での緊急援助活動の経験を活かしながら取り組んでおります。

当社はこれらの活動を積極的に支援しております。

### 栄養教育の普及に向けた支援

FIDRはカンボジア教育省とともに、2025年からのカンボジア全国の学校における「栄養教育」の開始に向け必要な準備を進めております。これまでに、教科書づくりや、栄養教育に初めて取り組む全国の教員への研修を担う「教育トレーナー」の養成を行いました。また、全国に先駆けて栄養教育や衛生的な学校環境づくりを行う4つのモデル校を支援しております。

2023年度は、モデル校の生徒が栄養の授業で学んだことを地域の人々と共有するイベント「食育の日」を初めて開催しました。イベントでは、先生と生徒が主体となり、栄養の模擬授業や、よりよい食生活をテーマにした演劇、健康管理に関するブース展示などを行い、1,000人以上が来場しました。また、日本のおやつの紹介として、きなこ餅をつくり来場者に試食してもらいました。実施に携わった先生や生徒はもとより地域の人たちも、栄養や衛生の重要性を楽しみながら考える機会になりました。



「食育の日」イベント（カンボジア）

## ● 地域の衛生状況と農業生産の改善

FIDRは、ネパールのヒマラヤ山脈の裾野にあるソルクンプ郡とオカルドゥンガ郡において地域総合開発事業を実施しております。地域の大きな課題は、衛生的な水の不足です。農業用水も乏しく、農業生産力の低さにつながっていました。

2023年度は3基の貯水タンクを建設したことで、地域住民は常時衛生的な水を得ることができるようになりました。また、住民に最も身近な医療機関である保健ポストの職員、保健ボランティア、小中学校の児童約1,500人を対象に口腔衛生や手洗い方法に関する研修等を実施し、衛生行動の改善をはかりました。また、これまでに農業用ため池を60か所に造営し、ハウス栽培の設備を331か所に設けました。特に乾燥している地域には約4kmにわたりパイプをひき灌漑設備を整備しました。これにより、水不足により農業生産量が落ちやすい乾季であっても、野菜栽培を行える農家が増加しました。



手洗い研修で学んだ方法を実践する子どもたち(ネパール)

### FIDRホームページのご案内

FIDRの援助活動は、FIDRの法人賛助会員、個人賛助会員など多くの方々のご支援を受けて実施しております。FIDRの活動の詳細、支援方法などにつきましては、下記のホームページで紹介しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.fidr.or.jp/>

## ● 令和6年能登半島地震緊急援助

2024年元日に発生した石川県の能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震は、広い範囲での建物の倒壊や道路の寸断、大規模火災をもたらし、多数の人命被害や住宅の損壊が発生し、産業基盤が喪失しました。FIDRは震災発生直後から情報収集を開始し、現地への出張調査を行い、行政や民間による支援が届きにくいところへの支援活動を行いました。

2月1日には、珠洲市の避難所内での感染予防のため、高機能空気清浄機60台を寄贈しました。また、2月下旬から2か月間、給食用に延べ14,000食の弁当を珠洲市の小中学校11校へ提供しました。さらに、3月下旬から5月下旬にかけては、約2,000人分の寝具7点セットを、輪島市の仮設住宅の入居者へ提供しました。



子どもたちがお弁当の感想を教えてくださいました(石川県珠洲市)

### ヤマザキ「ラブ・ローフ」募金への協力

当社は、FIDRとWVJが共催・実施しているヤマザキ「ラブ・ローフ」募金に協賛し、約3,200の販売店に募金箱を設置しております。これまでの募金はFIDRとWVJを通じて、アフリカやアジアの開発途上国での援助活動などに役立てられております。



## 貸借対照表のポイント

### 流動資産

売掛金が108億63百万円減少したこと等により、流動資産合計で44億43百万円減少し、3,103億44百万円となりました。

### 有形・無形固定資産

有形固定資産は、品質向上のための生産設備の更新等を実施しましたが、償却が進んだこともあり9億4百万円減少、また無形固定資産は、のれんの償却などにより10億75百万円減少し、有形・無形固定資産合計は3,670億24百万円となりました。設備投資額は187億96百万円、減価償却実施額は198億89百万円です。

### 投資その他の資産

所有株式の株価上昇により投資有価証券が増加しましたが、繰延税金資産等の減少もあり1,180億35百万円となりました。

### 負債合計

借入金の約定返済や支払債務の減少等により、負債合計は142億56百万円減少し、3,416億46百万円となりました。

### 純資産合計

自己株式の取得による減少はありましたが、利益剰余金の増加等により、純資産合計は76億25百万円増加し、4,537億57百万円となりました。

## 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2024年6月30日現在	前期末 2023年12月31日現在	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	310,344	314,787	△4,443
固定資産	485,059	487,247	△2,187
有形固定資産	346,682	347,586	△904
無形固定資産	20,341	21,417	△1,075
投資その他の資産	118,035	118,242	△207
<b>資産合計</b>	<b>795,404</b>	<b>802,035</b>	<b>△6,631</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	247,128	257,877	△10,749
固定負債	94,518	98,025	△3,507
<b>負債合計</b>	<b>341,646</b>	<b>355,902</b>	<b>△14,256</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	342,370	337,856	4,514
資本金	11,014	11,014	-
資本剰余金	9,632	9,632	△0
利益剰余金	359,815	343,395	16,420
自己株式	△38,091	△26,185	△11,905
その他の包括利益累計額	64,227	62,281	1,946
非支配株主持分	47,159	45,994	1,164
<b>純資産合計</b>	<b>453,757</b>	<b>446,132</b>	<b>7,625</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>795,404</b>	<b>802,035</b>	<b>△6,631</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 総資産・純資産(中間期)



## 自己資本比率(中間期)



## 損益計算書のポイント

### 売上高

単体の食パン、菓子パン部門が好調に売上を伸ばすとともに、(株)不二家や(株)サンデリカ、ヤマザキビスケット(株)の伸長に加え、(株)YKベーキングカンパニーの寄与もあり、前年同期に比べ9.5%の増収となりました。

### 営業利益

増収と原材料費率やエネルギーコスト等の減少もあり、前年同期に比べ50.6%の増益となりました。

### 経常利益

外貨建貸付金に係る為替差益の増加もあり、前年同期に比べ49.5%の増益で、売上高経常利益率は5.5%となりました。

### 親会社株主に帰属する中間純利益

関係会社株式売却益や投資有価証券売却益等の計上もあり、前年同期に比べ53.5%の増益となりました。

## 売上高経常利益率(中間期)



## 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2024年1月1日から 2024年6月30日まで	前中間期 2023年1月1日から 2023年6月30日まで	増減
売上高	617,747	563,944	53,802
売上原価	410,737	380,449	30,288
売上総利益	207,009	183,494	23,514
販売費及び一般管理費	175,979	162,884	13,095
営業利益	31,029	20,610	10,419
営業外収益	3,880	2,929	951
営業外費用	881	782	98
経常利益	34,028	22,756	11,271
特別利益	670	221	449
特別損失	937	948	△10
税金等調整前中間純利益	33,761	22,028	11,732
法人税等合計	11,073	7,441	3,632
中間純利益	22,687	14,587	8,100
非支配株主に帰属する中間純利益	1,118	532	586
親会社株主に帰属する中間純利益	21,569	14,055	7,513

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2024年1月1日から 2024年6月30日まで	前中間期 2023年1月1日から 2023年6月30日まで	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,792	52,135	△5,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,655	△29,023	9,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,290	△15,118	△8,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	439	△140	579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,286	7,852	△3,566
現金及び現金同等物の期首残高	129,582	119,559	10,022
現金及び現金同等物の中間期末残高	133,868	127,412	6,456

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務諸表（単体）

## 中間貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期末 2024年6月30日現在	前期末 2023年12月31日現在	増減
資産の部			
流動資産	157,897	166,163	△8,265
固定資産	404,864	405,877	△1,012
有形固定資産	203,023	205,863	△2,839
無形固定資産	7,302	7,269	33
投資その他の資産	194,538	192,744	1,794
資産合計	562,762	572,040	△9,277
負債の部			
流動負債	149,469	157,413	△7,944
固定負債	86,887	91,170	△4,282
負債合計	236,356	248,583	△12,227
純資産の部			
株主資本	288,517	287,972	544
資本金	11,014	11,014	－
資本剰余金	9,676	9,676	－
利益剰余金	305,918	293,467	12,450
自己株式	△38,091	△26,185	△11,905
評価・換算差額等	37,888	35,483	2,404
純資産合計	326,405	323,456	2,949
負債純資産合計	562,762	572,040	△9,277

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2024年1月1日から 2024年6月30日まで	前中間期 2023年1月1日から 2023年6月30日まで	増減
売上高	430,652	407,701	22,950
売上原価	286,256	274,882	11,374
売上総利益	144,395	132,819	11,576
販売費及び一般管理費	122,541	116,043	6,497
営業利益	21,854	16,775	5,078
営業外収益	4,174	3,416	757
営業外費用	536	556	△20
経常利益	25,492	19,635	5,857
特別利益	249	72	176
特別損失	349	933	△583
税引前中間純利益	25,392	18,774	6,617
法人税等合計	7,793	5,881	1,911
中間純利益	17,599	12,893	4,705

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# YAMAZAKI インフォメーション

## ヤマザキ「秋のわくわくプレゼント」

2024年9月1日（日）から11月15日（金）までの期間中、ヤマザキ「秋のわくわくプレゼント」キャンペーンを実施いたします。

詳しくは対象商品のパッケージまたは当社ホームページをご覧ください。

**Aコース** 東京ディズニーリゾート®パークチケット(ペア)

**Bコース** ヤマザキグループのお菓子のファンタジーボックス

**Cコース** QUOカード 3,000円分

秋のわくわくプレゼント 2024

毎週抽選で総計 **50,000** 名様に当たる!

キャンペーン期間 9/1日～11/15日

応募期限 11月20日(木) 当日消印有効

**Aコース** 東京ディズニーリゾート®パークチケット(ペア) 5,000名様 (2,500組)

**Bコース** ヤマザキグループのお菓子のファンタジーボックス 40,000名様

**Cコース** QUOカード 3,000円分 5,000名様

※山崎製パン株式会社は東京ディズニーランド/東京ディズニーシーのオフィシャルスポンサーです。

## 株主優待情報

株主様の日頃のご支援にお応えするため、毎年12月31日現在の株主様（ご所有株式数1,000株以上）に対し、3,000円相当の自社製品の詰合せを毎年4月にお届けいたします。



写真は本年4月にお届けしたものです。

株主優待制度は、当社株式1,000株(単元株式数100株×10単元)以上を所有されている株主様を対象しております。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、投資家の皆様向けの「決算・IR情報」をはじめ、商品情報やおすめのレシピなど、さまざまな情報を公開しています。



<https://www.yamazakipan.co.jp/>

## 株式の状況 (2024年6月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	800,000,000株
発行済株式総数	220,282,860株
株主総数	18,099名 (前期末比266名減)

### 大株主

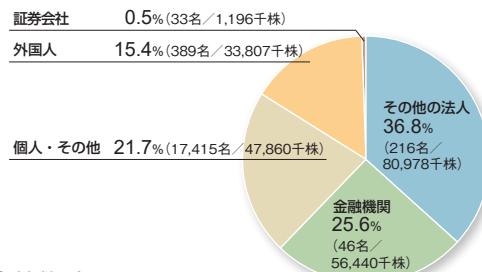
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
飯島興産株式会社	18,777,895	9.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,364,700	8.5
公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	12,500,000	6.1
株式会社日清製粉グループ本社	11,062,343	5.4
三菱商事株式会社	9,849,655	4.8
丸紅株式会社	8,165,880	4.0
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	7,889,500	3.8
明治安田生命保険相互会社	6,501,500	3.2
株式会社三井住友銀行	3,946,419	1.9
飯島 延浩	3,665,424	1.8

(注) 1. 当社は、自己株式を17,701,280株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

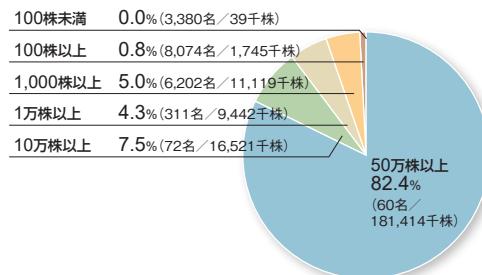
2. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

### 株式分布状況

#### ●所有者別



#### ●所有株数別



## 役員・従業員 (2024年6月30日現在)

### 役員

代表取締役社長	飯島 延浩	取締役	島田 秀男 (社外取締役)
代表取締役副社長	飯島 幹雄	取締役	畑江 敬子 (社外取締役)
専務取締役	横濱 通雄	取締役	佐藤 健司
専務取締役	会田 正久	常勤監査等委員	
専務取締役	犬塚 勇	取締役	松田 道弘 (社外取締役)
専務取締役	関根 治	常勤監査等委員	
専務取締役	吉田谷良一	取締役	齋藤 昌男 (社外取締役)
常務取締役	園田 誠	監査等委員	
常務取締役	酒井 光政	取締役	馬場久萬男 (社外取締役)
		監査等委員	

### 従業員

連結	33,622名 (男性24,163名、女性9,459名)
当社	19,804名 (男性15,490名、女性4,314名)

## 重要な子会社

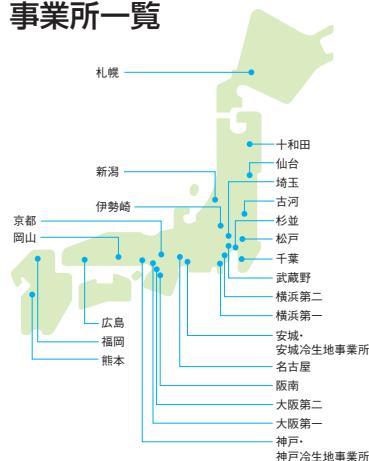
会社名	資本金(百万円)	当社の議決権比率(%)	主要な事業内容
株式会社不二家	18,280	54.4	洋菓子、チョコレート、キャンディ、クッキー等の製造および販売
株式会社サンデリカ	2,000	100.0	調理パン、米飯類等の製造および販売
ヤマザキビスケット株式会社	1,600	80.0	ビスケット、スナック等の製造および販売
株式会社YKベーキングカンパニー	310	100.0	パン、洋菓子等の製造および販売
株式会社ヴィ・ド・フランス	100	100.0	ベーカリーカフェの経営
株式会社東ハト	2,168	95.4	ビスケット、スナック等の製造および販売
大徳食品株式会社	100	100.0	麺類の製造および販売
株式会社イケダパン	100	80.0	パン、和・洋菓子、米飯類等の製造および販売
ヴィ・ド・フランス・ヤマザキ,Inc.(アメリカ)	5,000千US\$	100.0	ベーカリー製品の製造および販売ならびにベーカリーカフェの経営
フォーリーブズ PTE.Ltd.(シンガポール)	1,250千S\$	60.0	ベーカリーの経営
株式会社ヴィ・ディー・エフ・サンロイヤル	236	100.0	パン用冷凍生地等の製造および販売ならびにインスタベーカリーの経営
株式会社スリーエスフーズ	480	100.0	パンの製造および販売
香港山崎麵包有限公司(香港)	45,500千HK\$	100.0	ベーカリーの経営
株式会社高知ヤマザキ	100	100.0	パン、和・洋菓子等の製造および販売
株式会社サンキムラヤ	100	100.0	パン、和・洋菓子、米飯類等の製造および販売
PT.ヤマザキ インドネシア(インドネシア)	8,830億Rp	51.0	パン、和・洋菓子等の製造および販売
株式会社ヤマザキ物流	300	100.0	物流事業
株式会社サンロジスティックス	380	100.0	物流事業
株式会社ヤマザキエンジニアリング	80	100.0	食品製造設備の設計、監理および工事の請負

(注) 1. 大徳食品(株)は、(株)サンデリカ全額出資の子会社であり、当社の議決権比率は間接所有割合であります。

2. (株)サンロジスティックスは、当社と(株)ヤマザキ物流がそれぞれ50%ずつ出資しており、当社の議決権比率は間接所有を含む割合であります。

3. 連結子会社は、上記重要な子会社19社を含む35社であります。

## 事業所一覧



**本社** 東京都千代田区岩本町3-10-1  
**千葉工場** 千葉県松戸市南花島向町319  
**千葉工場** 千葉県千葉市美浜区新港22  
**武蔵野工場** 東京都東久留米市柳窪2-5-14  
**埼玉工場** 埼玉県所沢市坂之下85  
**杉並工場** 東京都杉並区高井戸西3-2-30  
**横浜第一工場** 神奈川県横浜市戸塚区上柏尾町15  
**横浜第二工場** 神奈川県横浜市都筑区東方町188  
**古河工場** 茨城県古河市丘里7  
**伊勢崎工場** 群馬県伊勢崎市粕川町1801  
**仙台工場** 宮城県柴田郡柴田町槻木白幡2-9-1  
**新潟工場** 新潟県新潟市江南区二本木4-12-8  
**十和田工場** 青森県十和田市稲生町1-13  
**札幌工場** 北海道恵庭市恵南10-1

**大阪第一工場** 大阪府吹田市幸町29-1  
**神戸工場** 兵庫県神戸市西区高塚台6-19-1  
**大阪第二工場** 大阪府松原市三宅東2-1835-5  
**阪南工場** 大阪府羽曳野市広瀬161  
**京都工場** 京都府宇治市横島町目川100  
**名古屋工場** 愛知県名古屋市中区玉池町36  
**安城工場** 愛知県安城市二本木新町2-1-3  
**岡山工場** 岡山県総社市井尻野800  
**広島工場** 広島県広島市安佐北区大林2-3-1  
**福岡工場** 福岡県古賀市古賀69  
**熊本工場** 熊本県宇城市松橋町浦川内2388  
**安城冷生地事業所** 愛知県安城市二本木新町2-1-3  
**神戸冷生地事業所** 兵庫県神戸市西区高塚台6-19-1  
**海外駐在員事務所** 米国、パリ、台北、上海、ジャカルタ、ホーチミン

# 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当の基準日	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
公 告 方 法	電子公告によるものとし、当社のホームページ（ <a href="https://www.yamazakipan.co.jp/ir/koukoku/">https://www.yamazakipan.co.jp/ir/koukoku/</a> ）に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株 式 の 上 場	東京証券取引所プライム市場

## 株式に関する手続き

- 株式に関する各種手続き（住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など）は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取り扱いしております。詳しくは、お取引の証券会社にお問い合わせください。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていない株主様の株式につきましては、特別口座で管理されております。特別口座に関する各種手続き（証券会社の口座への振替（※）、住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など）は、三井住友信託銀行にてお取り扱いいたします。

（※）証券会社の口座への振替について  
特別口座では株式の売買を行うことはできません。売買を行う場合は証券会社の口座に株式を振り替えてください。  
・証券会社の口座をお持ちでない株主様は、あらかじめ証券会社で口座開設をしてください。  
・単元未満株式の買増請求・買取請求につきましては、特別口座のまま行うことができます。

特別口座に関する各種手続きに必要な用紙のご請求は、上記のフリーダイヤルまたは下記のホームページで受付しております。

◎ ホームページアドレス <https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>
- 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行にてお取り扱いいたします。
- 会社法改正により、株主総会資料は原則としてインターネットを通して提供することとなりました。書面での受領を希望される株主様は、口座を開設されている証券会社または三井住友信託銀行にお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-533-600（電子提供制度専用ダイヤル）